

# Case 1 千葉県 谷口さんの家

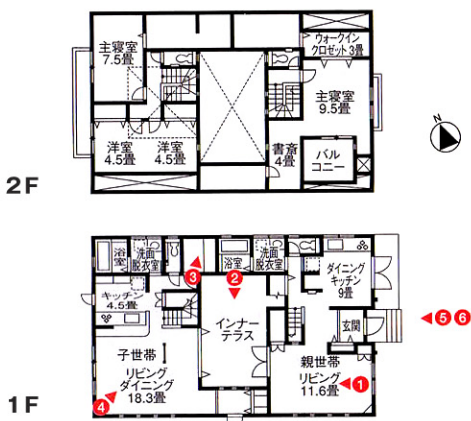
## お誕生日、クリスマス、特別な日はいつも 2つのリビングをつなぐインナーテラスで



⑤急勾配の屋根が印象的な、左右分離型の二世帯住宅。端正なシンメトリーを描く外観に、左右の門柱に掲げたおそろいの表札が映える。⑥表札はグラフィックデザイナーでもあるお父様のハンドメイド

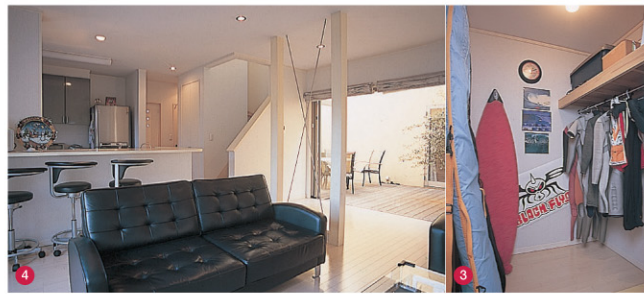


①インナーテラスを挟んでふたつのリビングがつながる、ほどよい距離感の二世帯住宅。  
②電動式ルーフを装備した全天候型のインナーテラス。四方が閉じられているため、「夏は風呂上がりのビールが楽しい」とお父様。また「子供を安心して遊ばせられます」とお母様



### DATA

工法・構造 / 木造軸組工法  
 延床面積 / 197.07㎡  
 家族構成 / 父 (48歳) 母 (47歳)  
 夫 (23歳) 妻 (22歳)  
 長女 (1歳) 長男 (0歳)  
 本体価格 / 3180万円  
 設計 / ビルダーズブリッジ



③サーファーのご主人のためのサーフィン部屋。④子世帯のLDKはキッチンにカウンターを設け、ダイニングテーブルを置かずに広々と。テラス窓を開放しておく、子供も愛犬も両世帯間をのびのびと行き来できる

**光** あふれるインナーテラスが、谷口さん親子にとってのHappy空間。広い敷地に左右分離型の二世帯住宅を建てるにあたって「家の中央にも光を取り込めるように」との目的で設けたこの空間が、今では二世帯の核となる部分だ。

ふたつのリビングからガラス越しにつながる開放的なインナーテラスは、親世帯でも子世帯でもないニュートラルな空間。「ふだんはあまり干渉し合わない二世帯ですが、たまにここで孫が遊んでいる姿や、息子が一服している姿が目に入ると自然と声をかけてみたり、親戚が集まれば一緒にバーベキューを楽しんだりしています」とお父様。

二世帯をポータレスに結ぶインナーテラスは、日常でも非日常でもフル稼働している。